

平成29年度生駒市男女共同参画審議会第1回審議会会議録（要旨）

- 1 日 時：平成29年6月30日（金）午前10時00分から午前11時55分まで
- 2 場 所：生駒市コミュニティセンター 206会議室
- 3 出席者：榎村委員、立松委員、内橋委員、甲斐委員、高田委員
（欠席者：原川委員、竹内委員）
（事務局）吉岡市民部長、中田人権施策課長、松田男女共同参画プラザ所長
- 4 議事内容：1 委員の交代について
2 「生駒市男女共同参画プラザの概要」平成28年度版について
3 生駒市男女共同参画行動計画（第3次）前期実施計画に係る平成28年度実績について
4 平成29年度事業の進捗状況について
5 その他
- 5 傍聴者：なし
- 6 要 旨

（事務局） 【会議の公開と議事録の公開の了承確認】

（会 長） 【挨拶】

<審議会>

（事務局） 【会長に議事進行依頼】「生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条」

（会 長） 【会議公開、会議録作成、公表確認】
会議次第に従いまして、議事を進めます。
まず、委員の交代についてお願いします。

（事務局） 高田委員の紹介等

（高田委員） 【挨拶】

（会 長） 続いて、「2事業案件（1）生駒市男女共同参画プラザの概要 平成28年度版について」事務局から説明をお願いします。

（事務局） 生駒市男女共同参画プラザの概要 平成28年度版について説明

（会 長） 何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

（会 長） これらの講座は毎年一緒の内容でしょうか。

(事務局) 毎回講座終了後、参加者にアンケートを取っておりまして、その中で出てきておりますニーズを次年度に反映させるなどの工夫をして、毎回変更をかせせていただいております。

(委員) 講座についての市民への情報発信は如何でしょうか。

(事務局) アンケートに本講座をどこでお知りになったかの項目がありまして、その回答のほとんどが広報紙との回答ですので、適当な時期の広報に掲載して発信していき、合わせまして市ホームページでも掲載することでほぼ網羅できていると考えています。

他のツールについては、費用対効果を考えて運用をしていかなければと思っております。

(委員) 折角実施するのに知らないというのが残念で、あとからこんな講座をやっていたということに気付くこともあるかと…。

(事務局) 他の周知方法として、プラザの概要の後ろに添付してございます講座の周知用チラシを作成し、各公共施設や関係機関に配布いたしております。

(会長) 生駒市の特徴としては専業主婦率が高いので、子育てとか何かそういった方への講座がないかを見ていたのですが…。

(事務局) このビルの3階に子育て支援総合センターがございまして、そちらで結構充実した講座をなさっております。

(会長) 子どもに関係したりお母さんに関係したりで、その辺りをうまく連携できればと思います。

(会長) 2ページのプラザの変遷をみますと、講座を企画したり、だんだんと直接事業を計画する職員が減っているのではないかと思います…。

(事務局) コミュニティセンターの管理も兼務している関係もありますし、平成29年度からは再任用職員を2名配置しております。

また、相談員には相談だけでなくプラザの業務にも関わってほしいと伝えてありますし、相談員の出勤日数も増えております。

(会長) ここに掲載している以外に再任用職員が配置されているということですか。

(事務局) はい。

(会 長) それでは続きまして、「(2)生駒市男女共同参画行動計画（第3次）前期実施計画に係る平成28年度実績報告について」説明をお願いします。

(事務局) 生駒市男女共同参画行動計画（第3次）前期実施計画に係る平成28年度実績報告の一部訂正及び内容についての説明（前年度と比較して顕著な実績の場合、前年度事業に加えて新たに事業を追加して事業の充実を図った場合をピックアップして順次説明）

(会 長) 今、特徴的な取り組みについて説明がありましたが、何か質問はありますか？

(委 員) みっきランドのことがよく分からないのですが。

(事務局) みっきランドの説明

(会 長) ありがとうございます。他にございませんか。

(委 員) 育児休業・介護休業の市の実態はどうなっていますか？

(事務局) 本行動計画開始の平成27年度から今までで男性の育児休業取得はゼロで、介護休業については具体的な数字は控えておりません。

(会 長) イクボス宣言の事業所の育児休業、介護休業の取得率などが実際どう進んでいるかのデータはありますか？

(事務局) 宣言後、それぞれの事業所が取り組んでおられる情報を、他の事業所へご紹介をしていく作業に現在取り掛かっております。

(会 長) 良い事例があれば各事業所にお伝えいただければ結構かと思います。

(副会長) 子どもの医療費助成制度ですが、この制度は継続していこうという方向でしょうか。

(事務局) はい。
制度の運用方法を説明。

(副会長) 継続していける見通しなんですね。

(事務局) 市としては子育て支援に力を入れておりますので。

(会 長) 子育て支援センターと男女共同参画プラザが連携する事業ができればと思います。

(事務局) DVと子どもの虐待がケースとして重なる場合がありますので、現在そういった連携は図られております。

(委 員) 子育てに係る悩みのほかに、自分やパートナーとのライフスタイルについて色々と変わっていく時代でもあるので、それぞれの相談員が協力して一緒に協議していることは大事だと思います。そして、市民の方にとって良い解決方法を提示していただければいいと思います。

(会 長) 大企業や中小企業で、女性活躍推進事業やワーク・ライフ・バランスへの取り組みをなさって、それに対する優良企業の表彰をいくつかの自治体でやっておられるようですが。

(事務局) 前回の審議会で、ダイバーシティに積極的に取り組んでおられる事業所を表彰する事業説明をさせていただいたかと思うのですが、もしばらく具体的なことが決まりますまでよろしくお願ひしたいと考えております。

(会 長) 優良企業のお墨付きを取ることが、その企業のステータスにつながることから、良い意味での競争原理が働いて変わっていくことができると思います。

(副会長) 居宅介護支援事業所向けチェックリストですが、在宅の中での虐待なのか、施設の中での虐待なのかどちらでしょうか？

(事務局) 具体的にこちらが把握しておりませんので、お時間を頂戴して調べさせていただきます。

(委 員) 教育現場として取り組まなければならないのが子どもに対するネグレクトで、保護者からの相談やパートナーからのDV相談などにも結構敏感でして、我々が介入できる場所は介入していきますが、通報を受けただけで踏み込んでいけないところもあります。

今日は、相談の窓口のひとつとしてみっきランドを知るようになったのが成果です。

(副会長) 学校長が保護者の方の相談にのるケースは多いのでしょうか？

(委 員) 立ち入れないところがあるので、そんなに多くはありません。
一番多いのはサポートセンターゆうとタイアップしながら、こどもサポートセンターゆうさんで訪問をしていただいた情報を学校へ入れていただき、

学校での様子をこちらから要保護児童対策地域協議会にあげさせていただきながら、経過観察を行って対処しております。

また、スクールカウンセラーに毎月1回来ていただいているので、学校のホームページなどで保護者へ情報を流しています。

(会 長) 28年度から新規でというものはありますか？

(事務局) 28年度から新規でといったものは聞いておりません。

(会 長) 「おやじの会」とありますが、これはどういったものなのでしょうか？

(委 員) 幼稚園の活動には父親が出てこられることがあったりで、あえて父親達の組織を作って、その後子どもが大きくなれば父親のつながりをそのままに持ち上がっていくということで、生駒はパパちからが結構あると思います。

(会 長) 市の中で課題となっているところはありますでしょうか？

(事務局) 本行動計画について、部署ごとの立場ではなく、男女共同参画といった切り口で、各々の事業・施策を精査し、検討を加えていければ良いのではと考えております。

(事務局) 行動計画がめざす指標についての進捗を説明させていただいてよろしいでしょうか？

(会 長) どうぞお願いします。

(事務局) 生駒市男女共同参画行動計画（第3次）Y o u & I プランがめざす指標の進捗について説明

(委 員) 育児休業について、無給であればこの制度を利用する職員はいないでしょうね。

何らかの経済的なケアはないのでしょうか？

育児に注力してもらうために出している、民間の雇用保険給付のようなものはないのでしょうか？

介護休業でも、無給ならそれこそ虐待につながる恐れがあるのではと危惧します。

ここに上げていくのであれば、できる形にしていかなければいけないと思いますが…。

結局、制度はあるけれど取得率はありませんでしたでは、何か根本的なものが欠落しているように感じます。

(会 長) 女性の取得率は如何でしょうか？

(事務局) ほぼ、100%です。

(委 員) それも結局夫の収入に頼っているからいけるのであって、一見率として良い様に見えますが、そこは男女共同参画としてはおかしい話になりますよね。

(事務局) 共済掛金の補填はしていると思います。
公務員は結構手厚い話なので、補填はあるのではと思います。

(委 員) 補填があったとして、ゼロであるというのも問題です。
補填があるけど、取れない何かがあるのかなと感じます。

(会 長) 育児休業が何年間かあるとして、それを全部女性が取ったら、束縛期間とか、自分の能力低下だとか色んなところで女性活躍に支障が出てくるので、なるだけ早く復帰させる。

資生堂ショックと言われるように、期間があるからといって、あんまり長く取っていると職場復帰が出来なくなってくると全国的に問題になってきています。

男性の場合は、1年、半年といっても難しいので、現実的なところで育児休業期間は企業においても色々ですが、海外のスウェーデンでも1年取ってる訳ではないので、今後はまず短期的なところから徐々に段階を踏んでやらないといけないのではと思います。

(事務局) パパ・クォーター制の法制化により育児休暇を父母で分散していくというのもありました。

(委 員) 休暇の考え方から考えていった方が良いと思うのですが、休暇といえばスパッと取ることが多いですが、ホントは完全休暇を取らないで、1日で2時間とか、3日で1日行くとか、それこそテレワークを利用するとかでスキルの落ちない方法でというののもひとつです。

(会 長) 夫婦で半日ずつとか、週3日とか色々な形式が出てきて、それこそ職場でどういった働き方の順番でもっていかかというのと連動しているかもしれません。

(委 員) 生駒市では、取れと言っておきながら、実は取りにくいといった状況があるのかなと。

(事務局) 昔であれば、出産でも仕事に出てきていた時代もありましたが、最近では

出産となれば休暇を取るのが普通となっています。

また、学校の参観といった場合の休暇も最近の職員は結構取っています。

(委 員) 育児休暇取得はどうなったら取得となるのでしょうか？

(事務局) 出生届出をしてから発生します。

(委 員) 最低何日からとなるのでしょうか？

(事務局) 具体的にわかりませんが、パートナーの退院や出生届出の際に取れる育児補助休暇はございます。

(委 員) 育児休暇は子どもと関わって、子どもの成長過程をみるといった意味あいもあるのです…。

(事務局) 市の職員で、男性の育児休業を取ったものの感想文を読みましたが、お金の部分はちょっと辛いけど、それに見合うだけの子育てで感じるものはあったという内容でした。

ですから、これから育児休業を取るであろう男性職員には、何らかの形で気付いてもらう工夫がいるのではと思います。

(委 員) 1週間で有給なら、まずそこからやってみるとか…。でないと、ずっと0になっちゃうのではと思います。

(副会長) 年次有給休暇で休まれている場合があるのでは…。

(事務局) 休暇の取りやすさで年次有給休暇で休んでいる場合は、十分考えられます。

(会 長) 保育園における一時預かり保育の年間利用児童数もすごく多いんですね。

(事務局) 保育園の数も増えてきていますし、受け入れるだけの素地があったのでということだとは思いますが…。

(会 長) 幼稚園の延長保育も入っての数字ですか？

(事務局) はい。

(会 長) 市職員の時間外勤務時間数ですが、各部署で違うのでしょうか？

(事務局) はい。やはり、税などは季節的なことがありますし…。

それをならした形でということです。

(委 員) 女性委員のいない審議会なんですけど…。

(会 長) 私も気になったのですが、何か表は付けてはいただいてませんか？

(事務局) 付けてはいません。

構造的に、男性が出るべくして出てこられる審議会もありまして、その辺りを排除するわけにも参りませんので…。

(会 長) 結構多いですね。

毎年これを出していただければどこが0かがわかりますし、どう工夫して女性委員に入っていただくかということも考えられますので…。

どういったところがありますか？

(事務局) 産業関係、農業・商工業の審議会、それと人数の少ない審議会、自治連合会などの選出の場合は、ひとり3つまでと決まっているため偏りが生じます。

(会 長) 一度出していただいたら。

(委 員) 逆に女性の多い審議会は？

(事務局) そういう審議会もございます。

(委 員) 審議会の性質上0となることを考えると、割合を目標にするのもいいのでは思います。

(事務局) この数字は毎年県へ報告しておりますので、28年度実績であれば皆さんにご提示をさせていただくことが可能です。

(会 長) できるだけお出し願えればと思います。

(会 長) 子育て女性就職相談件数の絶対数が少ないとのことでしたが…。

(事務局) 毎月コミュニティセンターで開催されている県主体の事業です。

(会 長) ファミリーサポートについてはニーズが高いですね。

(委 員) 多少報酬があるのでしょうか？

ある程度報酬が望めたら、若い方も参加されるのかなと思います。

- (事務局) ほぼ、ボランティアになります。
- (委員) ボランティアは一見素晴らしく見えるのですが、ある程度金銭的なことがないと、緊張感、責任感が出てきませんし、やる気のこともあります。
福祉関係といえばボランティア的なことになって、結果運営が苦しくなってきたてしまいます。
ニーズがあり、受け手側で若い方を増やしたければ、ある程度の金額を出すことも考えていかなければならないと思います。
- (会長) 待機児童問題では、小規模保育園増設で対処していくとの説明がありましたが…。
- (事務局) 待機児童については、0歳児など小さなお子さんが多いですから、今年で2園開設されますが、行きたい園は需給問題もあって地域によって難しいところがあります。
- (委員) 待機問題は難しいです。
解消したらまたそこに来られて、たちごっこです。
- (会長) 他に提案等ございませんか？
事業案件はこれで終わりですか？
- (事務局) いえ、平成29年度事業の進捗状況についてがございます。
- (会長) わかりました。
では、事務局から説明をお願いします。
- (事務局) 平成29年度事業の進捗状況について説明。
- (会長) 何か質問等ございませんか？
- (会長) 職員部会で検討した結果は、色々なところへ反映されるのでしょうか？
- (事務局) テーマによって、そのテーマに関わる行政の担当者が最後の発表の際に同席をしていただくとか、職員へは成果品をメールで配信しています。
- (会長) 他に何かございますか？
その他はありますか？
- (事務局) ありません。

(会 長) では、閉会とさせていただきたいと思います。

(事務局) 本日はご審議ありがとうございました。

 本日の会議録につきましては、後日郵送をさせていただきます、内容ご
確認のうえご返事いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上